



元気とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2019年01月07日 第901号「週刊五十嵐レポート」

おたくの強みは何だ？

今年が始まった。昨年末から株価が下落傾向と円高の流れ。今年は、「乱」を感じる。実感の少ない長期好景気から不況への入り口か。

不況に強いのは断トツの1位の会社。1位の会社は、下位の会社に2乗作用の圧力を与えている。ある卸売会社の社長曰く、「1位の会社から無言の圧迫を感じている。ぽつぽつ顧客が1位の会社に流れている。バイヤーからよく言われるのは、『おたくの強みは何だ？』『おたくから買う理由は何だ？』と」。会社の存在意義を問われている。

経営を勉強していると、他社のマネをしない。マネをすると、自社の強みを見失い、ジリ貧になることを知っている。常に自社の独自性を問う。

飲食店の社長曰く、「当店に来るお客さんは、他の店にも行っている。当店に来たときに、いい店か否か、また来たいかどうか、評価する」。

製造業の社長曰く、「同業がやりたがらない仕事がある。ロットは少ないものやめんどろなもの。それを当社がやる。市場は大きくないが、当社のいい値で受注できる。おいしい仕事である」。

経営を勉強していると、売上を追うのではなく、1位狙い。小規模1位・部分1位を狙う。特定の何かで1位をとると効率上昇により利益性がバツグンに良くなることを知っている。

ある業界では2022年問題というものがある。人手不足により2020年までの仕事が2022年まで時間がかかる。その後の仕事量が3割以上減る予想。そうなると下位の会社は落ちこぼれていく。あと3年ある。今のうちに特定の商品でシェアを伸ばして断トツの1位を目指す。

そうなると1位の4つのメリットを享受できる。まず第1に知名度が上がり、営業が有利になる。第2に経費が割安になる。第3に顧客による紹介が増える。第4に倒産・廃業した企業の顧客が1位に流れ、1位の会社に顧客が集中する。

自社の良さを見つけ出し、それを伸ばす。いずれ1位になる。今年はこちらだ。

ちょっと
気になる出来事

1月6日（日）付、日経新聞に「人手不足倒産が最多」という記事。東京商工リサーチの調べでは、2018年11月までで362件と前年比2割強増。タイプ別では、業務を担う人材が確保できずに事業が続けられなくなる「求人難型」が66%増の53件。

人材つなぎ留めのための待遇改善がコスト増に跳ね返った「人件費高騰型」も71%増の24件。

人手不足倒産に見舞われた業種は、飲食業や老人福祉・介護事業、貨物自動車運送業などのサービス業が中心。

1月5日（土）夫婦で日本橋七福神巡りをしてきた。5日なっても参拝客で行列。ちょっと食事をとろうと、昼時にイタリアンレストランに入ろうとしたら、中にお客さんはいるのに、「閉店」の札。中に入れてみると、オーナーシェフ1人が厨房にいた。フロアにはお客以外いない。「なるほど店員ゼロ」。パンク寸前だった。

猫の手も借りたいとはこのことだ。飲食業の人材不足は深刻。



一口メモ
知識

相手に判断をゆだねる

ブッダの説法は、

「そのようなことをするのは、こういう理由でよくないし、悪い結果が出る。このようなことをすれば、こういう理由でよい結果が出る」と、あくまで説示するだけです。

「法則、真理」を示し、「どうだろうか」と相手に判断をゆだねます。

相手は自らの意思で「じゃあ、やってみよう。ためしてみよう」と決めて実行するわけです。

ブッダが押しつけることはまったくない。聞く人には、いつでも自由があります。仏教徒は自由な人間なのです。

「ブッダの教え一日一話」(PHP研究所/アルボムッレ・スマナサーラ)より

- 「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時
 - 「戦略社長塾東京」小岩校 土曜隔週(第2・第4) 午後2時～6時
 - 「戦略社長塾東京」銀座校、五反田校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。
- ㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051 東京都江戸川区北小岩6-21-5
Tel.03-3659-7703 Fax03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

